

きどころイントラの 教本に載っていないワンポイント座学

2025 年 2 月 17 日

第 10 回 P 証取得後の流れ

① P 証を取得された方へ

P 証を取得されたフライヤーの皆様、おめでとうございます！

例えば、P 証取得は自動車の普通免許取得とほぼ同じです。

つまり**巣立ちできたばかりの若鳥**といえます。

実際にはこれから多くの場面で沢山の経験を積む必要があります。

そして次の XC 証を取得するにはおよそ 150 時間程度の飛行経験が必要です。

それは年間 50 時間のフライトで約 3 年分にあたります。

まずは沢山の知識と経験でフライト技術を磨き、**自分で自分の安全を守れる** 様になってください。

近年の P 証は以前に比べ簡単に取得できる傾向なので、取得後の事故やケガも増えています。充分気を付けながらフライトを楽しんでいきましょう。



② よく考えてコースを選択してください

ソラトピアでは今のところ P 証取得後に2つのコースがあります。

(1) スクールに入らず、自力で上達を目指す。もしくはのんびりマイペースでフライトをする。

(2) **SU コース**に入って、イントラのアドバイスを受けながらフライト技術を磨き、**100～200 時間の経験**を積んで **XP 証取得**を目指す。

どちらのコースを選んでも、上級者になるには**沢山の経験**が必要です。

また SU コースに入っても、**必ず XP 証を取得する必要はありません**。

以前は XP 証を取得する方は 3 人に 1 人程度で、それなりの技術と判断力が必要で、途中で諦めた方も多くいました。

きどころとしては全員 SU コースに入って、**焦らずに自主的に練習に励んでほしい**と思っています。

フライヤーの技術と安全の向上のためには、イントラ勢はがんばってアドバイスします。

是非、分からない事や悩みがあればイントラ(福田・平木・城所・カイ君)にご相談ください。



③フライヤー宣言を再確認しましょう

P 証を取得した皆様こそ JHF の【フライヤー宣言】を強く意識してください。

1. 自分の意志と責任でフライトします。
2. 自己の健康管理を行い、健全なフライトをします。
3. 社会のルールを守り、第三者に迷惑を掛けません。
4. 自然を大切にします。



パラグライダーのフライトは**大きな爽快感と感動**をもたらしますが、同時に**多くの危険性と隣り合わせ**です。特に日本で XC フライトをする場合は重大な課題になります。

1. の解説

パラグライダーのフライトはよく【**自己責任**】という言葉で表現されます。あなたは自分の判断でテイクオフ・フライト・ランディングの全てが出来ますか？自己責任の本当の意味を考えてみましょう。

2. の解説

疲労蓄積・睡眠不足・体の鈍り・体力低下・病気の影響・精神不安定・ストレス過大等はありませんか？

パラグライダーはスカイスポーツです。**スポーツマンとして身心ともに十分な準備**をしましょう。それは最低限の心構えです。

3. の解説

一見、自由の象徴の様に見える**パラグライダーにもルール**があります。エアリアルール、スクールのルール、山のルール、空のルール、一般マナーのルール、社会のルール。

それらを**守らないと事故の要因**になりやすいです。

パラグライダーで事故を起こしてしまうと、自分一人の問題で済むことは稀です。救助する人、手助けする人、エリア管理者、地元の人々、被害者、その他関係者、非常に**大勢の人に迷惑**をかけてしまう事はほぼ必然です。迷惑を掛けないとはどういうことか？日頃からよく考えてみましょう。



4. の解説

その通りです。**パラグライダーは風と遊ぶスカイスポーツ**です。風は自然からの贈物です。自然は謙虚な者には慈愛に満ちた褒美を与え、傲慢な者には無慈悲な仕打ちを与えます。人間は自然の強大な力の前ではちっぽけな存在です。自然に遊ばせてもらっているという事を忘れずに、**無理をしすぎない様にフライト**をしましょう。